

津軽森林管理署・金木支署	
タイトル	林業生産の効率化及び安全作業現地検討会
実施年月日	平成24年10月11日(木)
実施場所	青森県西津軽郡深浦町大字柳田字築棒沢山2026林班外
参加者	局署：東北森林管理局、青森事務所、津軽森林管理署、 金木支署 33名 外部：五所川原労働基準監督署、弘前市、平川市、黒石市、 深浦町、林災防青森支部、弘前地方森林組合、 つがる森林組合、北津軽森林組合、 署管内林業事業体等 38名 計 71名
【取組の目的・概要】 津軽流域の事業体は、これまでも高性能林業機械の導入など効率化や低コスト化に努めてきているが、更なる低コスト化を目指す必要がある。 このため、高性能林業機械による効率的な間伐の作業仕組みについて、チェーンソー伐倒及びプロセッサによるデモンストレーションや意見交換を実施している。 林業専用道作設方法についての説明と、事業実行箇所において検討会を実施し、意見交換を行うとともに、森林共同施業団地の推進を図る。	
【取組の成果】 <ul style="list-style-type: none"> 各事業体の取組や工夫について情報提供し、意見交換等を通じて、林業事業体等の知識・技術・安全意識の向上に資することができた。 現行の3m幅をベースとする森林作業道上での高性能林業機械の効率的活用にかかる現場作業員・オペレーターの疑問・課題について把握し、対応についての意見を交換することができた。 	
【出された意見】 <ul style="list-style-type: none"> 森林作業道の幅が3mに制限され、作業道に附帯する作業スペースも設置できないため、重機の旋回が難しく、プロセッサで造材する場所もなく、せっかくの高性能林業機械をフルに生かせない。 	
【局担当課のコメント】 (※下北森林管理署の現地検討会においても同様の意見あり) 路線計画においては、造材、積み込みなどの作業や、待避、駐車のためのスペースなど、作業を安全かつ効率的に行うための空間を適切に配置することとなっており、必要最小限の余裕(約0.5m)を付加することができる。 また、切り土法面に若干の傾斜をつけることで重機の旋回に余裕ができる場合もあるので、余幅の効果的・効率的な配置と併せ、現地の状況に合った工夫をされたい。 高性能林業機械の更新時に小旋回タイプの機械にすることも一方法かと思われる。	
【今後の課題】 収穫調査と連動した、事業効果及び高性能林業機械の効率性向上のための林況に応じたマニュアル作成が必要と考えられる。	
【局担当課のコメント】 (※下北森林管理署の現地検討会においても同様の意見あり) 各署等において引き続き現地検討会や研修会などを開催し、生産性向上に向けた搬出しやすい間伐木の選木や効率的な作業システムの検討などに取り組むとともに、局としても指導していくこととしたい。	



現地説明



林業専用道設置箇所での検討風景



デモンストレーション風景



意見交換風景



森林作業道設置箇所での検討風景



五所川原労働基準監督署長の講評